株式会社 村田製作所

2023年度環境経営レポート

(対象期間: 2023 年10月1日 ~ 2024 年9月30日)



作成日: 2025年2月3日

口ごあいさつ

かけがえのない地球環境に配慮することは、事業活動を行う上で当然のことと考えています。しかし、環境のことだけを考えて事業活動を行うことができないのも当然のことであります。ゆえに、持続可能な環境活動を行うことで、ともに利益となる事業活動を行ってまいります。

株式会社 村田製作所

代表取締役 村田 秀和

環境経営方針

株式会社村田製作所は、生産するすべての工程において、かけがえのない地球環境に配慮した事業活動を行い、次世代へのより良い地球環境の継承に貢献します。 また、全ての事業活動において、当社に関わる関係法令、主要お取引様や地域の皆様との環境関連のお約束を誠実に遵守することをお誓いします。

- 1. 事業活動が環境に与える影響を確認し、人的、技術的、および経済的に可能な範囲で環境目標を設定し、環境保全活動、環境経営の継続的な改善を図ります。
- 2. 省エネ活動で二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
- 3. 資源を大切にするとともに廃棄物の削減に努めます。
- 4. 節水に取り組みます。
- 5. 化学物質の適正管理に努めます。
- 6. 環境に配慮した製品の製造に努めます。
- 7. エコ活動を通して明るく元気のある職場づくりを推進いたします。
- 8. この環境方針は、全ての従業員の周知すると併せて、必要に応じて 8. すべての利害関係者にも開示します。

制定日: 2016年 6月10日 改定日: 2024年 4月 1日

代表取締役社長 村田 秀和

口組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 村田製作所 代表取締役 村田 秀和

(2) 所在地

本社·工場 山梨県甲州市塩山千野3264

TEL 0553-33-6632 FAX 0553-32-3197

笛吹工場 山梨県笛吹市一宮町小城329-1

TEL 0553-39-8970 FAX 0553-39-8971

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 村田 秀和 TEL: 0553-33-6632

担当者 村田 恵美子

(4) 事業内容

製造業(機械加工) 金属加工業

主要製品:歯車製品のブランク加工、モータ部品

(5) 事業の規模

売上高

	本社·工場、笛吹工場
従業員	17人
延べ床面積	1, 180 m²

(6) 事業年度 2023年 10月1日~2024年9月30日

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名: 株式会社 村田製作所

対象事業所: 本社・工場 対象外事業所: 笛吹工場

※. 新工場の笛吹工場については、2025年10月より対象とし

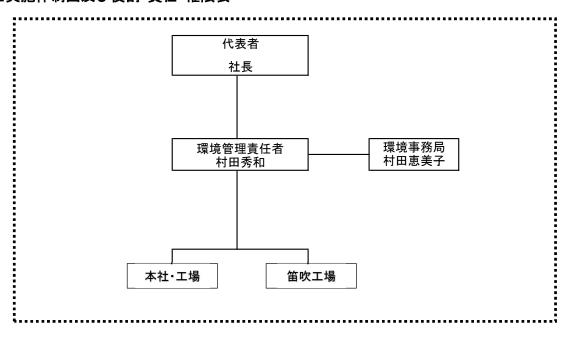
全事業所で環境活動を推進します。

活動: 機械加工

口主要生産工程図と設備・使用原材料

工程名	主要設備	使用原材料	主な環境負荷
旋盤加工	NC旋盤	水溶性切削油	清掃時の産業廃棄物
穴あけ加工	マシニングセンタ	水溶性切削油	清掃時の産業廃棄物
検査	三次元測定器		
出荷		ダンボール、防錆材	緩衝剤として再利用

□実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認 ・環境活動レポートの確成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境管理責任者村田秀和の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
	・環境活動計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□環境目標及びその実績

1百口	取組項目	単位	基準年 直近3年平均	目標			実績
項目				2022年度	2023年度	2024年度	2023年度
1. 二酸化炭素 排出削減	二酸化炭素総排出量	kg-C02	195, 020	193, 070	191, 119	189, 169	160, 382
	①電力使用量削減	kg-C02/百万円	1, 140	1, 129	1, 118	1, 106	997
	②ガソリン使用量削減 軽油使用量削減	kg-C02/百万円	62	61. 19	59. 95	58. 72	74. 24
2. 廃棄物の 削減	①一般廃棄物	kg/百万円	12. 59	12. 46	12. 34	12. 21	14. 56
	②廃油	kg/百万円	33. 01	32. 68	32. 35	32. 02	40. 88
3. 水使用量 削減	①水道水	㎡/百万円	0.94	0. 94	0. 94	0. 94	0. 69
4. 化学物質管 理 (PRTR対象物質 削減)	①ユシーロケンの削減 (水溶性切削油)	L/百万円	19	18. 92	18. 73	18. 54	11. 42
5. 製品及び	①客先クレーム	件数 (年間件数 /12)	0.55	0. 54	0. 54	0. 53	0. 50
サービス	②損品金額	万円/百万 円	0. 555	0. 550	0. 544	0. 539	0. 406
6. 収益性	①売上げ	千円/年	162, 217	198, 000	200, 000	20, 400	149, 708
	②利益	千円/年					

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成 活動:○よくできた △さらに取組が必要 ×全くできなかった

活動: しよくじさに ひさらに収組かり		取組結果とその評価、次年度の取組内容
取り組み計画	達成状況	収租和木とての計画、八十及の収租内谷
二酸化炭素総排出量の削減		
		機械の移設に伴い、対象工場(本社)での機械数が減ったこともあり、数値上は達成できたことになる。ただし、来期以降ではどういっ
・本年度目標	\circ	た結果がでるか、また予測も含めて注視していく必要がある。
		計画は次年度も継続する
数値目標	0	今年度は機械の移設に伴い台数自体が減少したこともあり、売上が減
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	0	る中ではあるが目標が達成された。
・不要照明の消灯	0	•
・ノー残業デーの実施	0	
		計画は次年度も継続する
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	×	多分に売り上げ減少が目標未達の原因と捉えている。出来うる削減等
・アイドリングストップ	0	は施しているが、今期はとにかく仕事の変化が大きく、売上が減って
		しまった。
		計画は次年度も継続する
数値目標		結果的に総量も増えてしまったが、機械の移動等もあったため、仕方
3.1 <u>1</u>	×	のない部分はあったと思う。ひとえに売上の減少が大きく影響してい
 緩衝材の作成と使用	0	るので、目標設定をどうしていくか考える必要がある。
版国内・フト队と区川		計画は次年度も継続する
 廃油の削減		THE TOTAL OF THE TENT OF THE T
数値目標	X	総量的に多くなってしまったが、前半に機械の移動等があったため結
・作業ミスによる廃棄量の削減	0	果的に多くなったと思う。売上の減少が続いているため、目標達成に
117/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/10/		は至らなかった。
		計画は次年度も継続する
水道水の削減		
数値目標	0	使用量の減少は機械数の減少に影響していることが分かった。売上は
・今期より水道水の目標を現状とする	0	減少し続けたが、目標は達成になったのでよしとする。
]
		計画は次年度も継続する
ユシローケンの使用量削減		
数値目標	0	売上の減少は大きかったが、機械数の減少に伴って使用量・購入量も
・有害性物質の表示の徹底	0	減ったため、目標達成になった。
・使用濃度を適正にする	0	
		計画は次年度も継続する
製品・サービスへの環境配慮		
数値目標	0	トータルでは目標達成にはなったが、品質への意識を大きく変えてい
・3S活動の実施による不良品の発生を減らす	0	く必要性を感じるような一年になった。
		1
		計画は次年度も継続する
社会貢献		
・エコ活動を通じて明るく活気のある職	\cap	毎週の会議を中心としたコミュニケーションを活発に行うことが出来
場づくりを推進	0	てきている。来客へのご挨拶が出来てきている。
		 計画は次年度も継続する
		P 四13八十尺 U/ 近州)。3
		<u> </u>

口環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

公司我がと入りも上で深た内と	=747% 中引 いうくい X型 7 と は 7 位 3 位 6
適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
騒音・振動規制法	空圧機、送風機
消防法(危険物)	シンナーの保管
フロン排出抑制法	業務用空調機、冷凍機
騒音規制法(第二種区域)	届け出済み
振動規制法(第一種区域)	届け出済み
悪臭防止法(A区域)	-
廃棄物処理法	産業廃棄物の保管基準順守、委託基準順守、産業廃棄物管理票の管理
顧客要求事項	エコアクション21認証・登録(登録番号:0011784)

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。 なお、違反、訴訟等は創業以来ありませんでした。

口代表者による全体の評価と見直し

<評価>

ロシアによるウクライナ侵攻の影響がさらに深まった今期だったように思う。合わせて中国のインフラ需要が激減したことが追い打ちをかけたように思う。よって売上はここ3年で最低になってしまった。数値目標への取り組みの仕方にはある程度の限界はあるが、そもそも売上と利益を確保できて経営ができるため、今後の動向を見ながらやれることをしっかり取り組んでいけるようにしていきたい。

<指示>

大きな指示変更はなし。次年度も取り組みは変わらないが、多方面からの仕事を取れるように様々な改善を行っていくこと。

口環境活動の紹介

クリーン活動を行ったことで工場の一部が下記のように改善されています。



